



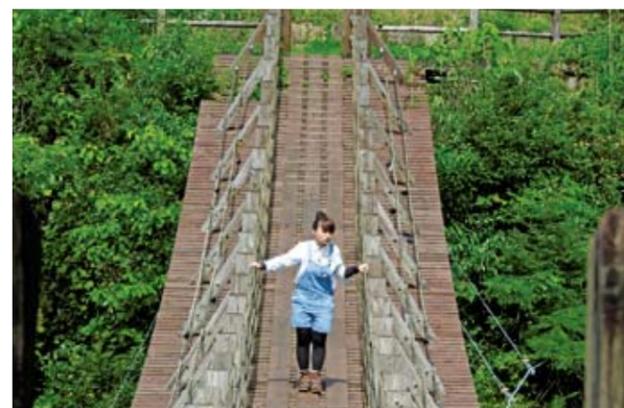
# 立神峡だより

## 氷川町を全国に発信しましょう！

7月1日にKAB(熊本朝日放送)からの取材を立神峡里地公園において受け、7月6日午後4時にくまパワ「まちの5じまん」で放送されました。前回の取材では「火打石」体験で火を起こす要領が放映されましたが、今回はログハウスやロッジ、キャンプ場の利用案内が主で、夏休みを前に予約の促進に一役かって頂きました。立神峡公園や氷川町のことについて、県内に放映されることはとても有り難いことです。こちらが用意していたドローンの映像もあり、迫力が一段と増しました。吊り橋のナイトイルミネーションの紹介もあり、氷川町のご自慢の一つに数えて頂きました。



残念ながら、今回の放送を見る事が出来なかった人たちのために、朗報です。インターネットで視聴が可能ですので、是非ご覧ください。



[KAB]または[熊本朝日放送]で検索。くまパワ「まちの5じまん」の放映日7月6日をクリックすると簡単に映像が見ることが出来ます。立神峡のホームページからも閲覧できますのでぜひアクセスください。

氷川町を全国に紹介するためにも、町民の皆さまのお力により、全国の親戚友人を通じて発信して欲しいと思います。

## 水難事故防止祈願祭(川開き)の開催

水難事故防止対策連絡会議に引き続き、7月15日(金)立神熊野座神社において、藤本一臣町長を始め、町議会および観光物産協会会長など多くの参加者の皆さまが、今年も立神峡の河川などで一切の事故が無いようにと水難事故防止の御祈願をしました。昨年は、幸いにも事故が無く安心しましたが、年々川の土砂が流出しているため、より深く急傾斜となっています。また、川泳ぎはできないことになっておりますので、町民の皆さま、くれぐれもご注意ください。



【お問い合わせ先】立神峡公園管理棟  
☎ 62-1543 FAX62-1546(8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス  
<http://tategami-camp.com>

# 町民文化

## 短歌

卯の花の咲けど杜鵑影見せず  
野津の山辺にその声ぞ聞く  
北野津 宮本 末秋

血圧やコレステロールの高き身も  
医師の笑顔に癒される思ひ  
吉本 高橋 澄子

石垣の崩れしままに時は過ぎ  
樟の若葉の城にゆれおる  
西野津 古崎スエノ

大君の姿何度も読み返す  
身体に走る熱き涙を  
南鹿野 尾崎 京子

目覚むれば雀忙し騒がしく  
久方ぶりの晴れ間告ぐ  
西野津 古崎 栄子

夕暮れは涯なる雲にもの憶ふ  
高みに在す神ぞいこひしき  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

続く雨暗き庭先照らすよに  
今朝も一輪白き山梔  
上鹿島 前村 俊子

## 俳句

寂しさや辺りに立たぬ初職  
北野津 宮本 末秋

通潤橋水鏡なる畦模様  
高塚 桑原ゆき代

梅雨の最中仮設住宅建ち進む  
吉本 高橋 澄子

訪ねあて言葉はいらぬ夏仮設  
西野津 古崎スエノ

賜わりの野菜ごっそり夏料理  
南鹿野 尾崎 京子

七夕やいつまで続く余震かな  
西野津 古崎 栄子

人ふえて蜻蛉もふえ芝広場  
町 香山 菊童子

帰省の子囲みて語る一夜かな  
町 香山 セツ子

蝉すだくこの世の挽歌峯に飛ぶ  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

華やきて今昔語る夏座敷  
桜ヶ丘 吉田 照子

梅雨明けて底なき空の碧さかな  
町 田中 澄子

残り生は一縷の感謝合歓の花  
桜ヶ丘 宮崎トシ子

天空は雲群らがりて出番待つ  
上鹿島 前村 俊子

## 臨死か蘇生か!! [後編]

法道寺 本田 花風

彼が学習能力を身に付けてき、与えられたデータにディープラーニング(深層学習)という手法でデータの中から彼自身が自ら気づく能力を持っている。思考の先の洞察する力に感情まで人間の域に近づいてきているのかもしれない。米国防府は、AIを使ってテロリストの行動の特徴を認識するシステムを作り、空港に導入しようとしているそうだ。最近でも、宇宙物理学者のスティーブン・ホーキングが、「真に知的なAIが完成することは人類の終焉を意味するだろう」と警告したことが話題になった。AIのシンギラリティ(特殊能力)が暴発し人類を支配しないように開発者たちの歯車が錆びつかないことを祈るが、ケネディ暗殺に琴線を揺さぶられた過去の想い出が吹き飛んでしまふような出来事であった。ネット囲碁で勝負を二喜一憂する己が気取らずかしいものだ。この先々、AIの行く末を、宛先の無い便りを誰か超越してくれば天空で読んで見ることになるかもしれない。小説も書くそう。トルストイやサルトルなど読みあさり、その内にノーベル文学賞も取るようになるのでは。 ああアメージング。

## つい此の前は

吉本 橋村 正之

つい此の前は裸の木  
いつの間にかや身を吹いて  
緑のドレスまといつて  
自然の営み素晴らしい

つい此の前はランドセル  
背負って居たに気が付けば  
番茶も出花のお年頃  
大いに青春してるかな

つい此の前はお元気に  
お散歩されてたお年寄り  
お姿見えぬと思つたら  
今はあの世でなされてる

つい此の前はあんなにも  
仲の良かったおふたりに  
一体何があつたのか  
弥次馬根性気に掛かる

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。  
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。